

宮里小学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	宮里小学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	106人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	学校(事務室)		勤務時間	月～金10時～12時、13時～15時	

◆代表的・特徴的な活動

- 登下校の安全指導
- 朝の読み聞かせ
- 学校支援(丸つけ)
- 校外学習引率補助
- 環境整備
- 部活動指導
- 学芸会(道具づくり)
- エイサー指導
- 放課後子ども教室
- 部活動指導補助



◆工夫していること

- コーディネーター席を事務室に配置したり、職員と共に給食を取るなどをすることで職員との連携を取りやすくしている。
- 読み聞かせ、丸つけ活動の後は情報交換を行う。
- ネットワーク会議を通してボランティアの方との情報交換を持ち、交流を図る。



◆成果と課題

- 【学】保護者ボランティアとして学校に関わっていただくことで、学校支援者となって学力向上や行事等の安全確保に繋がっている。
- 【学】ボランティアさんによる毎日の登校時におけるあいさつや声掛けにより、自分から進んであいさつをする子が増えてきた。
- 【コ】ボランティア数の拡大に向け広報活動を充実させ、登録数を増やしていきたい。

高原小学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	高原小学校				
開始年度	H21年	登録ボランティア	68人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	高原小学校		勤務時間	6時間 × 115日	

◆代表的・特徴的な活動

- ・学習支援(朝の学習丸つけ、絵本読み聞かせ含む)
- ・環境整備、交通安全指導
- ・家庭科授業支援、校外学習引率補助(買い物学習付添い)
- ・避難訓練の安全保安員
- ・運動会の場内整備やエイサー指導



◆工夫していること

- ・毎週行っている読み聞かせや学習丸つけの終了後、事後報告、情報交換等交流会を毎回行っている。
- ・朝の交通安全指導に保護者以外に地域の方の協力を得ている。
- ・毎回の読み聞かせや学習丸つけのボランティアの時や急に必要ボランティアについて、学校メーリングサービスを利用して、登録者以外にも保護者全体に協力願を出している。



◆成果と課題

- 【学】地域の方が毎朝の交通安全指導を行ってくれている。
- 【学】朝の丸つけ、読み聞かせには年間を通して、保護者、地域の方の協力が得られ、子どもたちも喜んでいる。
- 【コ】毎回行っているゆんたく会で子育て情報等、低学年の保護者に必要な話などでき、喜ばれている。
- △【コ】ボランティア数が少ないので、もう少し増えるように呼びかけを強化したい。

室川小学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	室川小学校				
開始年度	H21 年	登録ボランティア	49 人	コーディネーター数	2 人
コーディネーターの配置場所	室川小学校	勤務時間	月～金 不定期		

◆代表的・特徴的な活動

- ・朝の読み聞かせ(毎週月曜日) ・環境整備・樹木の剪定、草刈り(随時)
- ・朝のプリント学習丸つけ(毎朝火曜日～金曜日)
- ・地域の方や保護者輪番による登下校の安全見守り(毎日)
- ・部活動指導・見守り(野球部・男女ミニバスケット部)
- ・校外学習・社会見学引率補助(学年の学習計画で随時)
- ・運動会時の室川青年会による交通整理

◆工夫していること

- ・地域連携室でボランティアとコーディネーターとの情報交換を行い、交流を深める。
- ・ボランティア掲示板に一週間の予定を記入している。
- ・丸つけボランティアさんに対し、毎月予定表を作成し、配布している。
- ・授業参観日、学校説明会時に声かけとボランティア募集のチラシを配布している。

◆成果と課題

- 【コ】毎週月曜日の読み聞かせを楽しみにしているようで、静かに聞く態度ができています。
- 【コ】朝の学習支援丸つけにより、子どもたちの学習意欲が高まってきている。
- 【学校】地域の方と交流することで、地域行事等への参加率も上がってきている。
- 【学校】「地域の学校」という意識が地域の中で高まり、学校へ協力してくれる。

美原小学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	美原小学校				
開始年度	H21 年	登録ボランティア	112 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	クラブハウス	勤務時間	月～金曜日の4～6時間		

◆代表的・特徴的な活動

- ・毎朝の交通安全指導、登下校通学安全指導(児童の登下校をベストを着た保護者が見守る取組)
- ・毎週木曜日の朝の読み聞かせ(全クラス)
- ・茶道クラブ、三線教室を実施
- ・身体測定・歯科健診データ入力作業
- ・地域探検(3年)での地域の方による講話
- ・学年や学級からの要請による地域の方の紹介(家庭科支援、ムービー作り、収穫体験等)

◆工夫していること

- ・PTAや自治会等、地域の組織と連携を図るために定期的に会合を開いている。
- ・年度当初に保護者へボランティア募集便りを作成及び配布を行い、活動内容の紹介を行った。また、申込時には保護者本人だけでなく、児童の祖父母の名前も情報として名簿に書いてもらい、次のボランティアに役立てている。
- ・読み聞かせ便り「おはなしのあさごはん」を月一回発行し、保護者や地域に配布している。
- ・地域ボランティアをPTA行事に招待している。(歓送迎会、夏祭り、交流会、給食試食会等)

◆成果と課題

- 【コ】定例の集まりで地域からの情報が数多く得られる。
- 【コ】読み聞かせは年度当初に顔合わせを行っており、新しい保護者が増えている。
- △【コ】夏休み明けから保護者の読み聞かせ参加人数が減る傾向にある。
- △【コ】朝の交通安全指導においては、ボランティア参加者に偏りが見られる。

泡瀬小学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	泡瀬小学校				
開始年度	H21年	登録ボランティア	49人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	事務室	勤務時間	1日3～4時間		

◆代表的・特徴的な活動

- ・教職を定年退職なさった地域の方々等による補習授業でのプリント丸つけ支援
- ・地域や児童保護者による校内外学習や実習等での保安要員
- ・地域の有識者による地域についての講話、案内
- ・専門技術を持つ地域の方々によるクラブ活動での指導、補助(手話、茶道、囲碁)



◆工夫していること

- ・先生方との連絡を円滑にするため事務室にコーディネーターの居場所を確保。
- ・ボランティアの相互の関係作りのため、活動終了後等の情報交換交流の時間を多く持つ。



◆成果と課題

- 【本部】地域の先輩方の積極的な協力の中、知恵や知識等を子どもたちに還元できた。
- 【コ】児童の保護者や地域の方々の積極的なボランティア協力体制ができてきている。
- 【学校】補習指導等への支援により、個に応じた指導の充実につながった。また、校外学習や実習等への支援により、安全面での確保ができ、学習内容の充実につながった。
- △【コ】先生方と連絡が円滑に取れるよう、さらに工夫する必要がある。
- △【学校】地域コーディネーターの勤務時間との兼ね合いで、依頼や打ち合わせのタイミングが難しいことがある。

比屋根小学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	比屋根小学校				
開始年度	H21年	登録ボランティア	40人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	比屋根小事務室	勤務時間	月～木(時間は不定期)		

◆代表的・特徴的な活動

- ・登下校時の交通安全指導。
- ・地域の方が講師となって行うクラブ指導。
- ・保護者による丸つけ、読み聞かせ、ミシン指導、校外学習引率。



◆工夫していること

地域ボランティアや自治会へは、校長便りと併せて学校の日程、長期休暇や日曜参観などを知らせる公文を作成し挨拶を兼ねて情報交換を行っている。読み聞かせ・丸つけ等の日程はメール配信を活用し、周知を行っている。地域の方が行うクラブでは、最後に集合写真を撮り、講師へプレゼント。



◆成果と課題

- 【学】子どもや教師から「大勢の地域・保護者に支えられている」といった感謝の気持ちや声が多く寄せられた。
- △【コ】活動によって偏りがあるので新たなボランティア人材の確保と維持、周知活動。



豊見城市学校支援地域本部(豊見城市)

構成学校	市内8幼稚園・8小学校・3中学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	733人	コーディネーター数	3人
コーディネーターの配置場所	教育委員会		勤務時間	年間 996時間	

◆代表的・特徴的な活動

- クラブ活動(うちなーぐち、三線、折り紙、手芸、イラスト等)の講師
- 学習支援活動(補習指導、丸付け等)
- 小学校1年生生活科の「昔遊び」指導
- 家庭科でのミシン操作補助
- 平和講話
- 書写指導
- 陸上指導
- プール補助
- 市内巡りガイド
- マナー教室
- 一輪車修理
- 和太鼓指導
- 書初め指導
- 交通安全指導
- 読み聞かせ
- 職業人講話
- 豊見城市の産業についての講話
- 地域学習(各字についての講話、まち探検)



◆工夫していること

【学校】

- 活動の時間を学年で揃えたりするなど、時間調整を工夫している。
- ボランティアの方に対し、学校の各行事への案内状を送付している。
- 担当教師とボランティアの方が事前に打ち合わせすることで、準備するものや必要な経費が確認できるようにしている。

【本部】

- 活動を充実させるため、学校・ボランティア相互の情報交換、情報収集を密に行い、きめ細やかな対応と、学校からの要望に応じた派遣に努めている。
- 昨年に引き続き各種団体と企業等に周知活動を行った。
- 毎年(教育委員会主催)感謝の会を開催し、参加者におもてなし料理と写真つきメッセージカードを贈っている。

◆成果と課題

- 【学】クラブ活動数を増やすことができて、子どもたちの希望をかなえやすくなった。
- 【学】運動会の出し物にボランティアの方から受けた指導を効果的に発揮できた。
- 【学】学習支援に入っているボランティアの学生には授業の準備等を手伝ってもらっているので、先生方にゆとりが生まれ、教科指導では個々に目が行き届きやすくなった。
- △【学】打合せをさらに充実させるための時間の確保。
- △【学】ボランティアの方の活動内容を全職員・全児童、生徒にも知らせたいが、発表の場・時間の工夫が必要。
- 【ボ】興味を持って礼儀正しく取り組んでくれるので、うれしい。
- 【ボ】子どもたちとのかかわりが励みになる。元気をもらえる。
- 【本部】学校に対し学校支援の企画・提案ができた。
- △【本部】ボランティアの人材確保のためには事業周知が必須であるため、広報活動の方法などについて工夫が必要。

石川中学校区支援地域本部(うるま市)

構成学校	宮森小学校、城前小学校、石川中学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	95 人	コーディネーター数	3 人
コーディネーターの配置場所	各学校		勤務時間	3時間×53日	

◆代表的・特徴的な活動

- ・読み聞かせ
- ・登下校安全指導
- ・学習支援
- ・学校備品修理
- ・学校行事支援



◆工夫していること

- ・依頼文書、御礼状など必ず出すよう心がけている。
- ・学校の行事ごとに協力者の声かけを行っている。
- ・小中連携を心がけている。



◆成果と課題

- 【学校】地域と学校の距離が近くなった。
- 【学校】児童生徒が、地域の方々へ感謝の心を持つようになった。
- 【コ】地域をよく知るコーディネーターが、学校と地域を結びつけている。

伊波中学校区支援地域本部(うるま市)

構成学校	伊波小学校、伊波中学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	35 人	コーディネーター数	2 人
コーディネーターの配置場所	各学校		勤務時間	3時間×53日	

◆代表的・特徴的な活動

- ・読み聞かせ
- ・登下校安全指導
- ・学習支援
- ・伝統芸能指導
- ・稲刈り体験
- ・夜間パトロール
- ・地域との交流会



◆工夫していること

- ・自治会、保護者へボランティア
- ・募集チラシの配布
- ・授業参観時にボランティアの声かけ
- ・近隣学校との情報交換

◆成果と課題

- 【学校】教師の負担軽減になっている。
- 【コ】交流会を通して地域と親しくなれた。
- △【学校】事業を理解していない先生もいる。



与勝中学校区支援地域本部(うるま市)

構成学校	南原小学校、与那城小学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	45 人	コーディネーター数	2 人
コーディネーターの配置場所	各学校		勤務時間	3時間×53日	

◆代表的・特徴的な活動

- ・読み聞かせ
- ・登下校安全指導
- ・学習支援
- ・学校行事支援
- ・環境整備



◆工夫していること

- ・自治会に対しボランティア募集の案内文を配付している。
- ・ボランティアとコーディネーターの連絡を密にしている。
- ・行事支援を通し、地域と連携をとっている。



◆成果と課題

- 【コ】 学校からの依頼を地域に繋げることで、行事支援をスムーズに行うことができた。
- 【コ】 児童生徒がボランティアと顔見知りになり、地域でも声をかけてくれる。
- △【コ】 児童生徒からの意見聞き取りも行いたい。

与勝第二中学校区支援地域本部(うるま市)

構成学校	平敷屋小学校、与勝第二中学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	52 人	コーディネーター数	2 人
コーディネーターの配置場所	各学校		勤務時間	3時間×53日	

◆代表的・特徴的な活動

- ・読み聞かせ
- ・環境整備
- ・登下校安全指導
- ・部活動始動
- ・学校行事支援



◆工夫していること

- ・自治会にボランティア募集チラシを配付している。
- ・「感謝朝会」等でボランティアへの感謝の場を作っている。
- ・読み聞かせ等を通じ、小中の連携を図っている。
- ・地域行事へ学校職員の参加を呼びかけている。



◆成果と課題

- 【学校】 児童生徒の地域の先輩方への尊敬が生じた。
- 【コ】 学校職員の負担軽減に繋がっている。
- 【コ】 地域をよく知るコーディネーターの力で学校と地域との連携が密である。
- △【コ】 後継者育成が難しい。

あげな中学校区支援地域本部(うるま市)

構成学校	あげな小学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	27 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	あげな小学校	勤務時間	3時間×53日		

◆代表的・特徴的な活動

- ・読み聞かせ
- ・交通安全指導
- ・学校行事支援



◆工夫していること

- 各自治会へ出向き、老人会の定例会で会員へ朝の交通安全指導ボランティアをお願いしている。
- 保護者宛に各種のボランティア募集の公文を配布したり、各字の広報紙でボランティア募集をしている。

◆成果と課題

- 【学校】朝の交通安全指導をきっかけに、老人会と子どもたちが顔見知りになった。
- 【学校】月一回の朝の読み聞かせを子どもたちは楽しみにしているようで、家庭でも読み聞かせを推進したい。
- △【コ】地域の方々にも幅広くボランティアを周知し募りたい。

具志川中学校区支援地域本部(うるま市)

構成学校	兼原小学校、赤道小学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	108 人	コーディネーター数	2 人
コーディネーターの配置場所	各学校	勤務時間	3時間×53日		

◆代表的・特徴的な活動

- ・読み聞かせ ・学習支援
- ・交通安全指導
- ・環境整備 ・平和学習
- ・放課後子ども教室との連携



◆工夫していること

- ・学校と地域のニーズの把握のためコーディネーターが常に情報収集している。
- ・活動が充実するよう、学校や地域以外にもネットワークを広げている。
- ・学校の要望をできるだけ具体的に支援者へ伝えるようにしている。
- ・支援終了後、感謝集会における支援者への感謝。

◆成果と課題

- 【学校】地域とのつながりができた。
- 【コ】地域の人材をコーディネーターを通して呼び込むことで、協力する人が増えている。
- △【コ】活動の回数を増やす工夫が必要。
- △【コ】学校教員との打合せ時間の確保が課題。

高江洲中学校区支援地域本部(うるま市)

構成学校	高江洲小学校、中原小学校、高江洲中学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	135 人	コーディネーター数	3 人
コーディネーターの配置場所	各学校		勤務時間	3時間×53日	

◆代表的・特徴的な活動

- ・読み聞かせ
- ・登下校安全指導
- ・環境整備
- ・授業支援
- ・獅子舞指導
- ・夜間パトロール
- ・部活動指導
- ・児童センターとの交流



◆工夫していること

- ・ボランティアだよりの作成。
- ・学校の情報を公民館に発信。
- ・地域連携室の確保。
- ・ボランティアの中に連絡係を配置している。



◆成果と課題

- 【学校】ボランティアが地域と学校をつないでいる。
- 【学校】先生方の支援につながっている。
- △【学校】教師に事業の趣旨が伝わっていない。
- △【コ】ボランティア活動の楽しさをまわりにもっと伝えたい。

具志川東中学校区支援地域本部(うるま市)

構成学校	具志川小学校、田場小学校、具志川東中学校				
開始年度	H22 年	登録ボランティア	165 人	コーディネーター数	3 人
コーディネーターの配置場所	各学校		勤務時間	3時間×53日	

◆代表的・特徴的な活動

- ・読み聞かせ
- ・登下校安全指導
- ・環境整備
- ・学習支援
- ・学校支援ボランティア団体の組織化



◆工夫していること

- 各自治会に足を運び、調整・協力依頼を行っている。
- 学校側との話し合いの調整。
- 一字一校の特性を活かしている。

◆成果と課題

- 【学校】地域行事との関わりを活かし、活動が充実した。
- 【学校】地域人材のおかげで緑化が保たれている。
- 【コ】自治会とつながりを持つことで人材の発掘ができた。
- △【コ】人材の確保が課題。



津堅中学校区支援地域本部(うるま市)

構成学校	津堅小学校、津堅中学校				
開始年度	H28年	登録ボランティア	10人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	学校	勤務時間	3時間×53日		

◆代表的・特徴的な活動

- ・読み聞かせ ・環境整備 ・部活動指導
- ・学校行事協力 ・学習支援
- ・楽器(三線)修理 ・方言教室指導
- ・伝統芸能指導(ウシデーク、エイサー)

◆工夫していること

- ・PTAの他、地域団体(漁業組合や長寿会など)への協力依頼
- ・職員と地域との連携
- ・学校における地域の伝統芸能保存継承への取組



◆成果と課題

- 【学校】学校と地域との連携が深まった。
- 【学校】地域(青年)の部活支援指導
- 【学校】地域の伝統芸能への積極的な参加
- 【学校】地域人材の適材適所の活用
- △【コ】コーディネーターの活用方法

彩橋中学校区支援地域本部(うるま市)

構成学校	彩橋小学校、彩橋中学校				
開始年度	H24年	登録ボランティア	30人	コーディネーター数	2人
コーディネーターの配置場所	各学校	勤務時間	3時間×53日		

◆代表的・特徴的な活動

- ・読み聞かせ
- ・学習支援(ミシン実習等)
- ・昔遊び指導 ・環境整備
- ・学校行事支援 ・平和集会
- ・交通安全指導
- ・放課後子ども教室との連携



◆工夫していること

- ・各自治会へ訪問し支援依頼
- ・地域連携担当、小中学校地域コーディネーターの連携
- ・地域懇談会等へ出席し、情報交換をしている
- ・ボランティアの呼びかけ範囲等、旧学校区で偏りがないよう配慮している。

◆成果と課題

- 【コ】地域を知る事ができた。
- 【学校】数年前の学校統廃合以降、新たな地域からも支援をいただけた。
- △【学校】学校から支援依頼を気軽にしてもらえる工夫が必要。

佐良浜中校区学校支援地域本部(宮古島市)

構成学校	宮古島市立佐良浜中学校、宮古島市立佐良浜小学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	80人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	佐良浜小・佐良浜中	勤務時間	1日4時間(月～金)		

◆代表的・特徴的な活動

- ・朝の読み聞かせ(小)
- ・地域の方による読み語り(中)
- ・放課後学習指導(中)
- ・不審者対応避難訓練(小)
- ・町たんけんガイド(小)
- ・運動会の踊り指導(小中)
- ・部活動指導(小中)
- ・あいさつ運動(小中)
- ・創立記念講話(小)
- ・クイチャー指導(小中)

町たんけんガイド



不審者対策訓練



◆工夫していること

- ・事業をするときは、連携がうまくとれるよう早めに調整をしている。
- ・他地区の取組や実施状況など、関連する情報を得るよう心がけている。
- ・校区内の自治会(婦人会、青年会、子ども会)にボランティアを呼びかけ、地域と学校の連携強化を図っている。
- ・放課後学習指導では部活動ごとに時間割を作り、各部活動の子どもたちがしっかりと学習できるように体制を作っている。
- ・ボランティアとコーディネーター、学校職員が連携できるよう、打ち合わせや話し合いの場を設けるようにしている。

◆成果と課題

- 【学・コ】放課後学習指導では、ボランティア・コーディネーター・学校職員が協力し合い、子どもたちの学習を支援しているため、子どもたちも積極的に参加するようになっている。
- 【学・コ】地域行事に参加したり講話を聞いたりすることで、子どもたちが小さい頃から地元に対して愛着を持っている。
- △【コ】学校職員にあまり負担がかからないよう、これからもボランティアの確保に努めていきたい。

平良中校区学校支援地域本部(宮古島市)

構成学校	宮古島市立平良中学校、宮古島市立平良第一小学校、宮古島市立南小学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	50人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	各小中学校		勤務時間	週2～3日(1日4時間)	

◆代表的・特徴的な活動

◎授業中のサポート

◎放課後の学習指導

◎十五夜シーシャー作り体験(南小)

◎プールでの児童監視(平良第一小)

◎水泳指導(平良第一小)

◎登下校安全指導(小学校)

◎学校区安全パトロール(校区内)

◎方言指導(平良中)

◎安全マップ作り(南小)

シーシャー作り体験



水泳指導



◆工夫していること

- ・事業をするときは、連携がうまくとれるよう早めに調整をしている。
- ・他地区の取組や実施状況など、関連する情報を得よう心がけている。
- ・市の人材バンク等を利用して、ボランティアの確保に努めている。
- ・校区内の自治会(婦人会、青年会、子ども会)にボランティアを呼びかけ、地域と学校の連携強化を図っている。

◆成果と課題

- 【コ】コーディネーターが地域の自治会でも活動しているため、地域住民へ声をかけやすく、また地域の方々も積極的に参加してくれる。
- △【コ】学校との調整の際、学校職員との時間がなかなか取れないことが多いが、なるべく勤務中に行うようにしている。



南城市学校支援地域本部(南城市)

構成学校	玉城中学校、知念中学校、久高中学校、佐敷中学校、大里中学校、玉城小学校、船越小学校、百名小学校、知念小学校、久高小学校、馬天小学校、佐敷小学校、大里南小学校、大里北小学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	364人	コーディネーター数	4人
コーディネーターの配置場所	南城市教育委員会	勤務時間	月85時間・月25時間		

◆代表的・特徴的な活動

- ・玉城地区、知念地区、佐敷地区、大里地区にあるそれぞれのボランティア組織が、コーディネーター、学校と連携を取り、学校支援を行う
- ・授業、放課後、早朝の学習支援（採点補助・個別指導）
- ・夏休みを利用した小中学校への学習支援（サマースクール）
- ・PTAを中心とした読み聞かせ
- ・手芸、茶道、折り紙、書道、しまくとぅば等のクラブ活動指導
- ・様々な職業の方をボランティア講師として招くキャリア教育
- ・ボランティアが自然案内や市内史跡等地域案内を行う総合学習
- ・6月（慰霊の日の前後）に実施する平和学習
- ・学校内外の花壇、菜園、農園などの環境整備



◆工夫していること

- ・学校支援ボランティア組織への支援・協力と連携
- ・民生委員や主任児童委員、環境クリーン指導員等の専門性の高い方々との連携
- ・ボランティア終了後、ボランティアの方々と校長、教頭、地域連携担当教諭との情報交換
- ・ボランティアの研修や交流、またボランティアへの日頃の感謝を伝えることを目的としたボランティア交流会の開催



◆成果と課題

- 【本】ボランティアの活動回数が増え、地域で学校を支援する気運が高まり学校の教育活動に貢献している。
- 【学校】ボランティアを活用する事で、質が高く、幅広い授業を展開することができ、児童、生徒の学力向上、キャリア教育に貢献できた。
- 【学校】地域の専門家から学んだり体験することで児童・生徒の学習意欲が高まった。
- 【学校】環境ボランティアの活動が活発になり、学校内外の花壇や菜園を整備する活動が盛んになり、学校がきれいになった。
- △【コ】学校からの支援要請が増えているため、ボランティアや学校との連絡調整に苦慮している。
- △【ボ】ボランティアの高齢化や一部のボランティアに負担が多くなるなど、新たなボランティアの発掘が重要である。

本部町学校支援地域本部(本部町)

構成学校	本部小学校、本部中学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	30人	コーディネーター数	2人
コーディネーターの配置場所	各学校		勤務時間	週14時間	

◆代表的・特徴的な活動

「本部小学校」

- ・読み聞かせ
文化教養部と地域ボランティアが連携し、読み聞かせを行った。お話イベントでは人形劇を行った。
- ・登校見守り
校区の老人会で毎朝児童の登校見守りを実施した。あいさつ等の声掛けも行っている。
- ・放課後のスポーツ活動見守り
サッカー、バスケット、野球など放課後のスポーツ活動を地域ボランティアで見守っている。



お話イベント

「本部中学校」

- ・家庭科授業支援
家庭科のミシンを使用した授業に地域ボランティアが参加。ミシンの使用方法等の指導を行った。
- ・栽培部、手芸部の発足
地域ボランティアが指導。部活動に加入していない生徒を中心に活動し、生徒の居場所づくりを行っている。
- ・ふれあい給食
各教室の給食に地域ボランティアが参加。給食を食べながら交流を深めた。給食終了後は学校と意見交換会を実施。



家庭科ミシン指導

◆工夫していること

- ・放課後子ども教室と連携し、ボランティアや指導者として関わった。
- ・町の広報紙で活動の様子を掲載。活動を周知しボランティア募集を行う。



手芸部



栽培部



ふれあい給食

◆成果と課題

- 【コ】手芸や栽培、部活動で地域の方々の技術を生かすことができた。
- 【教委】学校にボランティア活用チラシを配布したことで、ボランティアの活動分野が広がった。
- △【コ】学校からの要請が少ないように感じる。活用を呼びかけたい。

恩納村学校支援地域本部(恩納村)

構成学校	恩納村立各幼小中学校15校 (安富祖幼小中・喜瀬武原幼小中・恩納幼小中・仲泊幼小中・山田幼小中)				
開始年度	H26年	登録ボランティア	43人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	恩納村教育委員会 社会教育課		勤務時間	8時間×2日(週)×51週	

◆代表的・特徴的な活動

- ・地域伝統行事(ハーリー)のお話
- ・平和学習講師
- ・地元企業協力による職場体験マナー講習
- ・地域めぐりガイド
- ・図書館夏休みイベントでのミニ演奏会
- ・部活動(吹奏楽)指導補助
- ・沖縄そばの麺作り体験
- ・国際教室での日本語サポート
- ・調理実習サポート
- ・手話歌の先生



地域めぐりガイド



平和学習



沖縄そば麺作り体験

◆工夫していること

- ・初めてのボランティアさんでも安心して活動できるよう、コーディネーターも一緒に活動に参加するようにしている。
- ・お昼休みや放課後等、先生方の時間が少し空くところに出向き、こちらから声を掛けるなどして話をする機会をつくっている。
- ・地域で活動しているサークルや、学校に協力できそうな地域企業の情報を提供し、新たなボランティア活用の呼びかけをしている。



マナー講習



地域行事のお話

◆成果と課題

- 【ボ】調理をするのはいつものことだが、自分たちが子どもたちに教える側になって初めて、まだまだ伝え方に工夫の余地があると感じた。自分自身の勉強になった。
- 【ボ】長い期間地域を離れていたため、これからは地域のために何かしたいと考えていた。ボランティアとして学校に関わることができてとても嬉しい。
- 【学】ボランティアが、子ども一人ひとりについて関わってくださるので、担任も本来の業務に時間を割くことができた(少人数学級)。
- △【コ】学校からの多様なニーズに応えるための、幅広い人材の発掘がまだ充分できていない。
- △【コ】ボランティア同士の横の繋がりを強化し、学校からの要望にすぐに対応できるような仕組みづくりが必要。

読谷中学校区支援地域本部(読谷村)

構成学校	読谷中、渡慶次小、読谷小、喜名小、渡慶次幼稚園、読谷幼稚園、喜名幼稚園				
開始年度	H22年	登録ボランティア	50人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	教育委員会		勤務時間	週6時間×40週	

◆代表的・特徴的な活動

- ・戦争体験者による平和学習
- ・習字指導
- ・補習時間の学習支援
- ・マナー講習講師
- ・キャリア教育講師
- ・校外学習の安全要員
- ・ミシン授業の補助



◆工夫していること

＜マナー講習＞

＜ミシン授業補助＞

- ・教育委員会窓口で常時ボランティア登録ができるようにしている。
- ・コーディネーターはボランティアと連絡を密にし協力体制を作っている。
- ・地域人材の掘り起こしのため自治会の協力を得ている。

◆成果と課題

- 【学校】地域の方に指導してもらうことで学習意欲がより高まる。
- 【コ】各校とも朝の読み聞かせボランティアは独自のグループが結成され活動している。
- △【本部】学校へ事業の周知と活用を促し、ボランティアの活動を充実させたい。

古堅中学校区支援地域本部(読谷村)

構成学校	古堅中、古堅小、古堅南小、古堅幼稚園、古堅南幼稚園				
開始年度	H22年	登録ボランティア	30人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	教育委員会		勤務時間	週6時間×40週	

◆代表的・特徴的な活動

- ・補習時間の丸付け
- ・運動会の衣装点検作業
- ・新一年生の給食配膳補助
- ・教材園等の耕作等、環境整備



◆工夫していること

＜新1年生給食補助＞

＜エイサー衣装点検＞

- ・ボランティア登録者と派遣依頼内容のマッチングを心がけている。
- ・コーディネーターと依頼教諭と調整しやすい時間を書き入れる欄を設け要請してもらっている。
- ・各学校とも教頭先生の協力を得て要請をスムーズに進めている。

◆成果と課題

- 【学校】支援ボランティアの協力によって地域の方々と連携が図れた。
- △【コ】学校に積極的に関わり、先生方のニーズを把握できるようにしたい。
- △【本部】同じ内容の要請に偏っているので、学校へ積極的な活用を促しボランティア活動の充実へ繋げたい。

北中城村学校支援地域本部(北中城村)

構成学校	北中城中学校、北中城小学校、島袋小学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	80人	コーディネーター数	3人
コーディネーターの配置場所	教育委員会		勤務時間	4H×週2(1人)、4H×週1(2人)	

◆代表的・特徴的な活動

個別学習支援 ……中学校(授業中、別室での支援)
2学期の支援時間割→
(大学生や地域の方)

読み聞かせ ……北中城中学校 ……毎週木曜日
北中城小学校 ……毎週火曜日
島袋小学校 ……毎週月曜日



読み聞かせの後は
コーヒーを飲みながら
ミーティングと
情報交換

H28 2学期 学習支援

	月	火	水	木
1校時		3-2 算数 (志保、高野)	3-3 算数 (志保、高野)	3-4 算数 (志保、高野)
2校時	3-1 算数 (志保、高野)	3-2 算数 (志保、高野)	3-3 算数 (志保、高野)	3-4 算数 (志保、高野)
3校時	3-1 算数 (志保、高野)	3-2 算数 (志保、高野)	3-3 算数 (志保、高野)	3-4 算数 (志保、高野)
4校時				3-5 算数 (志保、高野)
5校時	3-1 算数 (志保、高野)	3-2 算数 (志保、高野)	3-3 算数 (志保、高野)	3-4 算数 (志保、高野)
6校時	3-1 算数 (志保、高野)	3-2 算数 (志保、高野)	3-3 算数 (志保、高野)	3-4 算数 (志保、高野)

サマースクール(夏休みの3日間)



避難訓練支援(避難訓練の際の不審者役)



平和集会(講話)



**大型バスの運転
(校外学習、音楽発表会)**



ミシン授業の補助(小学校5年生、6年生)

**小学校でのドリームウォール
ペンキ塗り(児童一人ひとりの夢を書く板)**

地域の伝統文化・芸能の指導(中学校の文化祭、伝統芸能祭りで発表)

◆工夫していること

- ・3人のコーディネーターの協力体制(ボランティア人材の情報共有)
- ・父母教師会や、読み聞かせサークルとの連携
- ・先生方が依頼しやすい雰囲気づくり
- ・ボランティアの皆さんが気持ちよく活動してもらえるよう声掛け

◆成果と課題

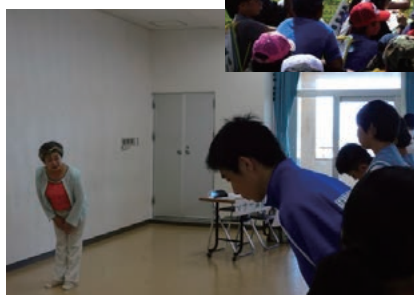
- 【地域】伝統芸能を地域で指導していただくことで、継承者育成にもつながり、また地域と子どもたちの関わりが深まった。
- 【学校】個別の学習支援をしてもらうことで、個々のレベルの指導ができ、学習意欲が向上。
- 【地域】ミシンや、サマースクールなど例年の活動となっているものは父母や地域の方も学校で子どもたちと関わることを楽しみにしている。
- △【本部】地域で伝統芸能を指導していただく際の、学校や父母教師会の関わり方の工夫。

中城村学校支援地域本部(中城村)

構成学校	中城中学校、中城小学校、津覇小学校、中城南小学校				
開始年度	H24年	登録ボランティア	80人	コーディネーター数	2人
コーディネーターの配置場所	教育委員会		勤務時間	4時間×147日	

◆代表的・特徴的な活動

- ・中城中学校 …職業人講話会
学校備品の溶接
マナー講習会
職場体験の受け入れ先調整
- ・中城小学校 …平和講演会
地域文化財めぐり
- ・中城南小学校…平和講演会



◆工夫していること

- ・コーディネーターが学校へ出向き、教員と情報交換、意見交換を積極的に行っている。また、担当教員が事前調整しやすいよう、訪問時間を配慮している。
- ・ボランティア活動がスムーズにいくよう、コーディネーター、学校、ボランティアさんと常に連携を取っている。
- ・村のホームページに活動内容やボランティア募集の記事を掲載し、人材確保に努めている。
- ・学校側から授業の一環として地域の文化財めぐりを取り入れたいとの事で、専門分野の嘱託員を学校へ派遣した。学校側の要望に出来るだけ応えられるよう調整している。

◆成果と課題

- 【コ】 村の専門嘱託員を派遣し、村の文化財について子どもたちへ伝える事ができた。
- △【コ】 学校から依頼のあった、樹木剪定の人材を派遣する事ができなかった。
- 【学】 生徒の体験活動が充実した。
- 【学】 学校と地域、教員とボランティアの連携が図れた。
- △【学】 ボランティアの活用について、職員間の共通理解が薄い。
- △【本部】 学校側の様々な要望に応えられるよう、ボランティアの人材確保については、村のホームページや掲示物など、周知方法を工夫していく。

西原町学校支援地域本部(西原町)

構成学校	坂田小学校・西原小学校・西原南小学校・西原東小学校・西原中学校・西原東中学校				
開始年度	H22年	登録ボランティア	332人	コーディネーター数	6人
コーディネーターの配置場所	各小・中学校		勤務時間	週2回 3時間程度	

◆代表的・特徴的な活動

- ・朝の立哨(あいさつ運動及び交通安全指導)
- ・朝の読み聞かせ(保護者、地域ボランティア等)
- ・環境整備(草木の剪定、花植栽、教材園づくり)
- ・学習支援(そろばん・毛筆・家庭科ミシン指導補助)
- ・総合学習(キャリア教育・平和学習講話)
- ・朝ドリルの丸付け
- ・部活動支援
- ・学校行事(体育祭、卒業式の校内外巡回等)
- ・避難訓練時の安全見守り
- ・花いっぱい運動(おやし・おふくろの会)
- ・音楽の授業での演奏ボランティア
- ・トイレの美化活動



◆工夫していること

- ・自治会長や民生委員、PTA会長との情報交換を通して開かれた学校づくり。
- ・ボランティアさんが来校しやすい雰囲気づくりに気配りする。
- ・自治会や地域の行事に顔を出し人材の発掘を心がけている。
- ・ボランティアさんと先生の要望を互いに伝えられるように気を配っている。
- ・ボランティアさんがやりがいを感じてもらうために生徒からの感謝の思いを感想文として届けている。
- ・他校の活動を教職員、ボランティアさんで情報共有し参考にしている。
- ・学校だよりで学校支援の様子をお知らせしている。
- ・ボランティアの要請が必要かを年間計画表で確認。
- ・活動内容に応じて保護者、地域ボランティア人数の調整。
- ・校長室を開放しボランティアさんの待機場として活用。



◆成果と課題

成果

- ・地域と繋がることで児童の登下校の安全確保が出来ている。
- ・おやし・おふくろの会との地域連携で学校支援に繋がった。
- ・学校職員や地域・保護者へ本事業が浸透して来た感がある。
- ・朝ドリルの丸付け、環境ボランティア、読み聞かせが定着。

課題

- ・新たな人材の発掘と人材バンクの作成。
- ・環境整備の地域ボランティア数を増やしたい。
- ・活動人数の確保が厳しい場合もあり、募集の工夫が必要。
- ・コーディネーターの役割を教職員へ周知徹底が必要。
- ・学校支援の幅を広げるため地域連携担当職員との連携強化。



与那原中学校区支援地域本部(与那原町)

構成学校	与那原小学校・与那原東小学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	60 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	教育委員会		勤務時間	5時間以内	

◆代表的・特徴的な活動

- ・平和学習において戦争体験者から当時の話を聴く（戦争体験、疎開体験など）
- ・小学校のクラブ活動において茶道や料理などの講師を地域の方へ依頼し行っている
- ・地域の伝統行事（与那原大綱曳）に関する絵本の読み聞かせ
- ・各小学校の算数補習教室において丸つけや指導を行っている
- ・小学校の花壇の水やり、草取りなどを行っている
- ・地域のお年寄りとの昔あそび体験やお話を授業の中で行っている（さぐってみよう昔の暮らし）
- ・町コミュニティーセンターを利用するサークルの方々に協力をしてもらい、様々なサークル体験活動を授業の中で行っている（名人探検）
- ・放課後の時間に図書室での自習見守りを行っている
- ・小学校の特別支援学級にて、月1回のペースで造形教室を行っている



◆園庭作業



◆図書室での自習見守り



◆算数補習

◆工夫していること

- ・ボランティアの種類ごとに出席簿を作り、参加人数や内容を把握できるようにしている。
- ・ボランティアの方の活動日に合わせて、コーディネーターが現場へ行き、その都度情報交換を積極的に行い、活動しやすい雰囲気作りを心掛けている。
- ・老人会などに所属している地域の方とのつながりを作るために、定例会へコーディネーターを派遣したり、社会福祉協議会との会議をもち、積極的に意見交換を行っている。
- ・PTA広報へ活動内容を掲載している。
- ・学校の掲示板にボランティア募集のポスターを掲示している。



◆平和学習



◆造形教室



◆劇と読み聞かせ

◆成果と課題

- △【コ】地域連携担当の先生の異動により、学校支援の依頼が来なくなった。
- 【コ】ボランティア参加者から、新たな人材の情報が得られるようになった。
- △【コ】新たな人材を発掘できても、それを活かす場が少ない。
- 【本】平和学習の体験談や算数の丸つけなどは定着しつつあり、ボランティアの方々も快く引き受けてくれるようになってきている。
- △【本】大学生ボランティアを活用してのボランティアがまだ少ない為、今以上に大学へ周知を行うことが必要。

南風原中学校区支援地域本部(南風原町)

構成学校	南風原中学校、南風原小学校、北丘小学校				
開始年度	H21年	登録ボランティア	200人	コーディネーター数	2人
コーディネーターの配置場所	教育委員会	勤務時間	9:00~17:00		

◆代表的・特徴的な活動(学習支援)

- ・南風原中 「模擬面接」中3推薦入試受験生を対象に、企業代表者等が面接官を務めた。
- ・南風原小 町事業「海外移住者子弟南米研修生」による、移民の話とスペイン語講座。
- ・北丘小 「福祉学習4コース」①盲学校見学とインタビュー②社協職員のユニバーサルデザインの話③視覚障がい者の話し、盲導犬の話④点字・車イス・アイマスク体験。



◆工夫していること

- ・次回(次年度)活用の為、感想や課題点を聞き取り・記録しPDCAサイクルを実施。
- ・学校や教師からの依頼や相談に応えられるよう情報収集を行い、事例や人材情報を提供。
- ・教師やボランティアの連絡調整に対する負担軽減の為、FAXやメールを活用。

◆成果と課題

- 【学】複数のボランティアが入ることで、個への対応ができるようになった。
- 【本】ボランティアへの給食提供を予算化。双方「交流の機会になっている」と好評。
- 【コ】担当校以外の授業を手伝う事で、事例を体験し担当校への情報提供ができた。
- 【ボ】ボランティア体験者が仲間を紹介し、ボランティアの輪が広がった。
- △【本】積極的な人材活用と領域の拡大。

南星中学校区支援地域本部(南風原町)

構成学校	南星中学校、津嘉山小学校、翔南小学校				
開始年度	H21年	登録ボランティア	200人	コーディネーター数	2人
コーディネーターの配置場所	教育委員会	勤務時間	9:00~17:00		

◆代表的・特徴的な活動(学習支援)

- ・南星中 「音楽実技指導」公民館サークルや愛好家による、ギター・三線の指導。「12の職業人講話」地域の先輩方を招き、苦労ややりがい等を聞く学習会。
- ・津嘉山小 「特産物・津嘉山かぼちゃの学習」①役場農業担当者と農家の話②調理実習・津嘉山かぼちゃの団子作り③JA集荷場見学とインタビュー。
- ・翔南小 「伝統文化の取り組み」校区の芸能文化の話、しまくとぅばと踊り、昔遊び。



◆工夫していること

- ・次回(次年度)活用の為、感想や課題点を聞き取り・記録しPDCAサイクルを実施。
- ・教師とボランティアが安心して取り組めるよう、進捗状況の確認等を丁寧に行う。
- ・4名のコーディネーターが協力して、自分の担当校以外の手伝いをしている。

◆成果と課題

- 【学】多種多様な職種の方との交流で、子どもにとって多様な進路選択の幅が広がる。
- 【本】ボランティアへの給食提供を予算化。双方「交流の機会になっている」と好評。
- 【コ】担当校以外の授業を手伝う事で、事例を体験し担当校への情報提供ができた。
- 【ボ】音楽ギター指導がきっかけとなり、教師とボランティアが協力し地域活動へ参加。
- △【本】潜在的なボランティア人材の発掘。

渡嘉敷村学校支援地域本部(渡嘉敷村)

構成学校	渡嘉敷小中学校、阿波連小学校				
開始年度	H21 年	登録ボランティア	60 人	コーディネーター数	0 人
コーディネーターの配置場所			勤務時間		

◆代表的・特徴的な活動

- ・毎週月曜日の読み聞かせ
- ・エイサー指導
- ・和太鼓指導
- ・三線指導
- ・ダイビングインストラクターによる遊泳指導
- ・「ハナリ島遠泳大会」時の安全管理（阿波連小）
- ・バドミントン指導（部活動）
- ・環境整備
- ・学校行事等の運営補助、参加協力



◆工夫していること

【学校】

- ・ボランティアと学校とが事前に連絡を取り合い、日程調整等を行っている。
- ・招待給食を行い、子どもたちとボランティアの交流を図っている。
- ・地域行事でも関わりがあるため、その都度子どもたちへボランティアの方々の周知をうながしている。

【本部】

- ・ボランティア名簿を作成し、事前に学校へ提供している。
- ・学校行事等へ積極的に参加をし、ボランティア活動状況やボランティアの方々との意見交換等を行っている。



◆成果と課題

- 【学校】学校職員では指導が難しい専門的な技術指導をしてくれるので、子どもたちの健やかな成長の一助になっている。
- 【学校】地域の方々を知ることにより、地域で育てられているという感謝の気持ちが育まれている。
- 【学校】学校の活性化につながっている。
- 【ボラ】自分たちの持っている知識で、子どもたちの教育の手助けができたと思うととても充実した気持ちになった。
- 【本部】継続して続けてきたことにより、学校とボランティアの連携がスムーズに行えているように感じられる。
- △【本部】現在、コーディネーターが不在である。

東風平・具志頭中学校区支援地域本部(八重瀬町)

構成学校	東風平中学校・具志頭中学校・東風平小学校・白川小学校・具志頭小学校・新城小学校				
開始年度	H23年	登録ボランティア	186人	コーディネーター数	2人
コーディネーターの配置場所	教育委員会		勤務時間	週20時間以内	

◆代表的・特徴的な活動

- ・東風平中学校→白梅学徒隊・学童疎開体験者による平和学習
- ・東風平小学校→ゆいまーる事業の車椅子・アイマスク体験、視覚障害者講話
- ・白川小学校→水泳事業の補助（骨折し、ギプスがはずれたばかりの子の補助や弱視児童の補助）
- ・具志頭小学校→子ども汗水節大会、しまくとぅば大会の三線、しまくとぅば指導
- ・新城小学校→学習発表会に向けての手話クラブ講師による、手話指導



◆工夫していること

- ・ボランティアを継続して行っていただけるように、ボランティアの方々へ、様々な情報を共有している。
- ・ボランティアの方を確保するため、社会福祉協議会や、自治会などに積極的に足を運び、様々な情報の中から事業に役立つ情報を探している。
- ・ボランティアの方が、学校へ入りやすいように先生方も入れて打ち合わせを行い、初回は一緒に学校へ入るようにしている。
- ・ボランティア終了後、アンケートや懇談会などの意見交換の場を設けている。



◆成果と課題

- 【コ】学校に支援本部事業が定着し、良好な関係性が築かれている。
- 【コ】支援事業のボランティアの方々、どんどん地域で連携し地域行事などでの活躍も見られるようになっている。
- △【コ】学校により、支援の依頼内容に不適切なものが含まれていることもあり、精査が必要である。
- △【コ】中学校の支援回数が少ないため、様々なボランティアがあり多様な支援が可能であることを各中学校へ周知を行う必要がある。
- △【教委】コーディネーターの退職時に、次の人材がなかなか発掘できず苦慮している。引き継ぎも困難である。

学校支援地域本部事業 実施状況一覽

市町村名	学校支援地域本部名	学校名	学習支援	登下校安全指導	クラブ活動指導	環境整備	学校行事補助
名護市	学校支援地域本部	屋我地小学校	○	○	○	○	○
		真喜屋小学校	○	○	○	○	○
		羽地小学校	○	○	○	○	○
		稲田小学校	○	○	○	○	○
		安和小学校	○	○	○	○	○
		屋部小学校	○	○	○	○	○
		屋部小学校中山分校	○	-	-	-	-
		大宮小学校	○	○	○	○	○
		名護小学校	○	○	○	○	○
		東江小学校	○	○	○	○	○
	名護市学校家庭地域連携協議会	瀬喜田小学校	○	○	○	○	○
		久志小学校	○	○	○	○	○
		久辺小学校	○	○	○	○	○
		大北小学校	○	○	○	○	○
		屋我地中学校	○	○	○	○	○
		羽地中学校	○	○	○	○	○
		屋部中学校	○	○	○	○	○
		名護中学校	○	○	○	○	○
		久志中学校	○	○	○	○	○
		久辺中学校	○	○	○	○	○
高嶺中学校区支援地域本部	東江中学校	○	○	○	○	○	
	大宮中学校	○	○	○	○	○	
	高嶺中学校	-	○	-	-	-	
	高嶺小学校	○	○	-	-	-	
	西崎中学校区支援地域本部	西崎中学校	-	-	○	○	○
		西崎小学校	-	-	○	○	○
	三和中学校区支援地域本部	光洋小学校	○	-	○	○	○
		三和中学校	-	-	○	-	-
		真壁小学校	-	○	○	○	○
		喜屋武小学校	○	○	-	-	-
潮平中学校区支援地域本部	米須小学校	○	○	-	○	○	
	潮平中学校	○	○	○	○	○	
潮平小学校	○	○	○	○	○		

市町村名	学校支援地域本部名	学校名	学習支援	登下校安全指導	クラブ活動指導	環境整備	学校行事補助
宜野湾市	宜野湾市学校支援地域本部事業	普天間小学校	○	○	○	○	○
		普天間第二小学校	○	○	○	○	○
		大山小学校	○	○	○	○	○
		大論名小学校	○	○	○	○	○
		嘉数小学校	○	○	○	○	○
		志真志小学校	○	○	○	○	○
		宜野湾小学校	○	○	○	○	○
		長田小学校	○	○	○	○	○
		はごろも小学校	○	○	○	○	○
		普天間中学校	○	○	○	○	○
		真志喜中学校	○	○	○	○	○
		嘉数中学校	○	○	○	○	○
		宜野湾中学校	○	○	○	○	○
		石垣小学校	○	-	-	-	-
		石垣第二中学校	○	-	-	-	-
		大浜中学校	-	○	○	○	○
石垣市	石垣市学校支援地域本部	浦添中学校	○	○	-	-	-
		浦添小学校	-	-	○	○	○
		前田小学校	○	○	-	-	-
		仲西中学校	○	-	-	-	-
		仲西小学校	○	○	○	○	○
		浦城小学校	○	○	-	-	-
		宮城小学校	○	-	-	-	-
		神森中学校	○	○	○	○	○
		神森小学校	○	○	○	○	-
		内間小学校	-	○	-	-	-
浦添市	浦添中学校支援地域本部	沢岫小学校	○	○	○	○	○
		港川中学校	○	-	-	-	-
		牧港小学校	○	○	○	○	○
		港川小学校	-	○	○	○	○
浦西中学校支援地域本部	浦西中学校支援地域本部	浦西中学校	-	○	○	○	○
		当山小学校	○	-	○	○	○

学校支援地域本部事業 実施状況一覧

市町村名	学校支援地域本部名	学校名	学習支援	登下校安全指導	クラブ活動指導	環境整備	学校行事補助
豊見城市	豊見城市学校支援地域本部	豊崎小学校	○	-	○	-	○
		ゆたか小学校	○	○	○	-	○
		豊見城中学校	○	-	○	-	-
		長嶺中学校	○	-	○	-	-
		伊良波中学校	○	-	○	-	-
		上田幼稚園	-	-	-	-	-
		長嶺幼稚園	-	-	-	-	-
		座安幼稚園	-	-	-	-	-
		豊見城幼稚園	-	-	-	-	-
		伊良波幼稚園	-	-	-	-	-
		とよみ幼稚園	-	-	-	-	-
		豊崎幼稚園	-	-	-	-	-
		ゆたか幼稚園	-	-	-	-	-
		石川中学校	○	○	-	○	○
宮森小学校	○	○	○	○	○	○	
城前小学校	○	○	-	-	-	○	
伊波中学校	○	○	○	-	○	○	
伊波小学校	○	○	○	-	○	-	
南原小学校	○	○	○	○	○	○	
与那城小学校	○	○	○	○	○	○	
与勝第二中学校	○	○	○	-	○	○	
平敷屋小学校	○	○	○	○	○	○	
あげふ小学校	○	○	○	○	-	○	
兼原小学校	○	○	○	○	○	-	
赤道小学校	○	○	○	○	○	○	
高江洲中学校	○	○	○	○	○	-	
高江洲小学校	○	○	○	○	○	-	
中原小学校	○	○	○	○	○	○	
具志川東中学校	-	○	-	-	○	-	
具志川小学校	○	○	○	○	○	○	
田場小学校	○	○	○	○	○	○	
彩橋中学校	○	○	○	-	○	○	
彩橋小学校	○	○	○	-	○	○	
津堅中学校	○	○	○	-	○	○	
津堅小学校	○	○	○	-	○	○	

市町村名	学校支援地域本部名	学校名	学習支援	登下校安全指導	クラブ活動指導	環境整備	学校行事補助
糸満市	糸満中学校区支援地域本部	糸満中学校	○	○	○	○	○
		糸満小学校	○	○	○	○	○
豊見城市	豊見城市学校支援地域本部	糸満南小学校	○	○	○	○	○
		兼城中学校	-	○	○	-	-
		兼城小学校	○	○	○	○	○
		越来小学校	○	○	-	○	○
		コザ小学校	○	○	-	○	○
		中の町小学校	○	○	○	○	○
		安藤田小学校	○	○	○	○	-
		諸見小学校	○	○	○	○	-
		鳥袋小学校	○	○	○	○	○
		山内小学校	○	○	-	○	○
		北美小学校	○	○	-	○	○
		美里小学校	○	○	○	○	○
		美里小学校	○	○	○	○	○
		宮里小学校	○	○	○	○	○
高原小学校	○	○	-	○	○		
室川小学校	○	○	○	○	○		
美原小学校	○	○	○	○	○		
泡瀬小学校	○	○	○	○	-		
比屋根小学校	○	○	○	○	-		
越来中学校	○	○	○	○	○		
コザ中学校	○	○	○	-	○		
山内中学校	○	○	-	○	○		
美里中学校	-	○	○	○	○		
美里中学校	○	○	○	○	○		
安藤田中学校	○	○	○	-	○		
宮里中学校	○	○	○	○	○		
沖繩東中学校	○	○	○	-	○		
上田小学校	○	○	-	○	○		
長嶺小学校	○	○	○	○	○		
座安小学校	○	○	○	○	○		
豊見城小学校	○	○	○	○	○		
伊良波小学校	○	○	○	○	○		
とよみ小学校	○	○	○	-	○		